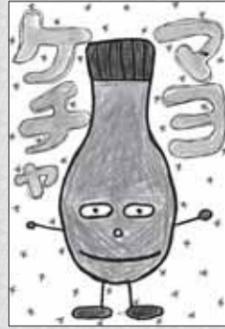


イラスト  
コーナー



P.N.さくらんぼさん



藤原 竜也さん



宮崎 幸穂さん

イラストは  
たてに描いてね

このコーナーでは、みなさんからの便りをお待ちしています。  
どんなことでもかまいません。どしどしお送りください。広報クイズの答えもお忘れなく。  
《あて先》〒861-3296 御船町役場「おたより」係 ※住所を書かなくても届きます。  
《Eメールアドレス》 [kanri@town.mifune.lg.jp](mailto:kanri@town.mifune.lg.jp)  
※匿名希望の場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもかまいません。

まちへのラブレター

みなさんからの便りをご紹介します。

**去** 3月11日に発生した東日本大震災、被災者の「この世の終わりのような光景だった」と。大変な生活を強いられる心がくじけそうになられると思われれます。しかし、地球上のすべての人たちが支援、声援を支えに強く頑張つて生きてほしいと願っています。  
(豊秋・Mさん)

**東** 日本大震災で被災された方々を案じながら、私たちに何が出来るか静かに考える時間を与えられ足元をしっかりと見ることができた気がします。いつ、どこでこのような目に合うことなど誰にも分からないし、家族で語り合い、三陸の方々が早く元気になられることをお祈りしたいです。  
(小坂・Tさん)

**行** 方不明の方や遺体の確認すらわかりにくいとのこと。心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早くの復興を願わずにはいられません。こんな時こそ与党も野党も皆一丸となって行動すべきだと思います。  
(田代・Uさん)

今月は、3月11日に発生した東日本大震災に關してのお便りがたくさん寄せられました。また、震災直後から何かできることはないだろうかと思援金や物資などの問い合わせの電話もたくさんいただきました。日を追うごとに増す悲惨な状況に胸が痛みます。被害に遭われた方々のご冥福をお祈りいたします。しかし、そんな中でも被災地の方々は少しずつ立ち上がり、前へ進もうとされています。「今、自分のできることを」復興へ向けて、日本中や世界中のみなさんが応援しています。  
(広報担当)

先生の青春昔話

町内に勤務する先生に、子どものころの思い出を話してもらおうコーナーです。

バイクに夢中!



高木小学校 天川 一幸 先生  
(旧三角町出身・?歳)

三角町の戸馳小学校という離島の小学校で、裏山で鳥を追いかけたり、海で魚を釣ったり、自由気ままに過ごしていた小学生時代。5年生のとき、担任の先生から天体望遠鏡で土星を見せていただいたことがきっかけで、理科に興味を持ちはじめ、その頃から「理科の先生に…」が自分の夢になりました。大学に入り、その頃夢中になったのが、バイク。24時間で九州を一周してみたり、ツーリング仲間と共に、いろいろな場所に旅行しました。残念ながら、大きな事故にも遭ってしまい、3日間意識不明になりましたが、ヘルメットのあごひもをしっかりと締めていたために命を落とさず、右手の骨折だけですが、真夏でもヘルメットは欠かしません。大きな教訓となりました。

文芸

ひとひねり

短歌

ひとり居の我が家に多分棲む魔物眼鏡を匿す指輪を匿す  
金森 英子  
電燈を起点にくもの巣造りすそこは無理だと思案する吾  
北村ヤヨイ  
穏やかに晴れて日の射す寒の空今日は一日泣いて暮らそう  
古閑喜美子  
ようやくに口蹄疫の収まるに又も鳥インフルエンザ宮崎に  
平野 文子  
鉢の梅極寒に耐え季節知るか雪つむ枝に荅ふくらむ  
藤本 京子  
おくやみ欄まず目を通す年齢層八十歳過ぎし吾にしあれば  
正宗タツ子  
海原を紅に染め今まさに沈まんとする冬の入り日は  
山本志満子

俳句

御船春菊句会 大坪路子選  
菱餅を重ね幸せ重ねけり  
緒方 宣子  
川鷄みな風に向きをり涅槃西風  
渡辺ケイ子  
浮雲や風に従ひ柳の芽  
守田 律子  
物忘れ多きこの頃山笑ふ  
赤星 和子  
身に過ぎるおこころづかひ暖かし  
黒田 順子  
川のご月日流るる古ひひな  
渡辺 澄江  
手話すこし覚えて春を近づくる  
いつのひろ

肥後狂句

天狗会

「大至急」何でん足らん災害地  
どうしよう 反対車線走つとる  
坂本 周礼  
近頃は 八百長説で賑わすな  
増永 笑和  
イッヒツヒ お邪魔しますよ空巣です  
鳥井 蘭  
忙がしき 晩のおかずは手抜きしよ  
江藤 お竜  
開通して 郷土料理で盛りあぎゆう  
吉田 栄園  
どっちみち 貯まらんけんて肝太さ  
河地 ゆき  
いつまでも 媽はかまやの天下人  
作田 お光  
けまつるる うるたえて起き見渡さす  
鈴木 千春

一般投稿

子と住みて至福の老後送る今猫の十匹 吾を癒せり  
松岡 文江  
狭い日本 頑張ろう日本 一人一人の力から  
内村 孝子  
村祭り豊穡なるを感謝して大地の恵み神に供えん  
増井 博行  
なつかしきむかしのいなか偲びつつ今日も布団で思いにふける  
松永 幸輝  
過疎の地の終のすみかの穂やかき山河もやさし母のごとくに  
餅崎 信子  
咄母の手を久々に引き二歩、三歩狭き歩幅に若き日思ふ  
渡辺イチ子  
八十路越え今日この頃の物忘れどうなる事かと思ふ日々かな  
渡辺ヒデコ

▲22歳当時の写真。ツーリングで九州一周するほどバイクに夢中だった青春時代。今もまだ現役です。

